

こども委員会のよりみちコラム

今回の担当：三上 詩織

書いた日：2023年9月7日

こんにちは♪日中はまだまだ暑い日もありますが、日が落ちるのが随分と早くなってきた今日この頃…いかがお過ごしでしょうか。この夏、初めてさんさを生で見る事ができて大満足の宮城出身・三上が担当します(‘ω’)ノ。

7月下旬、外部専門家としてお世話になっている支援学校で、〈遊具を使った感覚運動遊び〉というテーマで先生方向けの研修会を担当させていただく機会がありました。その学校は、広いスペースにトランポリンやハンモック、ブランコ等、羨ましいほど沢山の遊具があるのですが、先生によっては使い方や誰に何をどのように提供したらいいのかわからず、あまり積極的に使うことができていなかったそうです。講義では、“その子にとって受け入れやすい感覚刺激を探り、好ましい反応を引き出すこと”を中心に、感覚の種類や効果、目的に応じた展開の仕方、普段こどもと関わるうえで意識しているポイント等を紹介させていただきました。後半は、実際に遊具を体験したり、和気あいあいとした雰囲気情報交換をしたりと、とても貴重で有意義な時間となりました。先生からは、「このやり方で合ってるのかな？と不安に思っていることを解消することができたので、自信を持って取り組みたい。」とのお言葉があり、とても嬉しかったです。

試行錯誤しながら学校 OT に取り組ませてもらっていますが、先生が日頃不安に感じることを一緒に考え、普段の悩み事が少しでも解消されることで、自信を持ってクラス運営に取り組んで頂けるための気軽に相談できる存在でありたいと改めて感じました。8月に開催された研修会で講師の酒井先生が仰っていたように、『それぞれの文化の違いを理解し、相手を知ろうという姿勢』、『自分の仕事に対するプライドと限界性を持ちながら、多職種へのリスペクトを忘れないこと』、しっかりと肝に銘じて今後も精一杯取り組んでいきたいと思えます！

